

第35回 市民創作 函館

野外劇

星の城、明日に輝け

Hakodate
out-door
play

2023.7/9日.16日.23日.30日

2023.8/5日.6日

会場 五稜郭公園 一の橋広場

会場 函館市芸術ホール

公演 16時～17時 ※7月9日はオープニングセレモニーの後に公演開始
(開場15時30分) ※雨天・荒天の時は中止になる場合があります

公演 8月5日(土) 18時～19時(開場17時30分)
8月6日(日) 第一回 15時～16時(開場14時30分)
第二回 18時～19時(開場17時30分)

観劇料 1,000円 中学生以下 500円(前売り無し、当日売りのみ)
※両会場ともに幼児は大人一人につき1名までひざ上鑑賞無料

観劇料 1,000円 中学生以下 500円(前売り・当日売り同額、日時指定無し)

有料駐車場 道立函館美術館・観光駐車場・芸術ホール・市立函館図書館

アクセス 路線バス / 五稜郭公園入口下車～徒歩約5分

市営電車 / 五郭公園前下車～徒歩約15分

タクシー / JR 函館駅より～約20分、函館空港より～約25分

テーマソング / 「星のまち Hakodate」 作詞作曲: 新井満

主催 / NPO 法人 市民創作「函館野外劇」の会

事務局 / 〒040-0001 函館市五稜郭町29番7号(五稜郭櫻交流ハウス内)

TEL 0138-56-8601 Web <http://www.yagaigeki.com>

函館野外劇を応援しています。五稜郭タワー・生命保険協会函館協会・丸井今井・野村證券・函館中央病院・函館五稜郭病院

郷土の歴史を劇にして次の世代に語り継ぐ・市民創作の野外劇

市民創作函館野外劇とは

古くは縄文の時代から新幹線の開通する現代までを劇にしたもの。座ったまま短時間で函館の歴史を楽しめます。創始者はフランス人宣教師フィリップ・ゲローさん。有名なフランスのル・ピディフ野外劇とは姉妹提携をしています。



☆ 受賞歴など

- 平成 3年 国土庁全国地域づくり表彰 国土庁長官賞受賞
- 平成 5年 サントリー財団 地域文化賞受賞
- 平成 9年 読売新聞社 '97北のくらし大賞
- 平成18年 国土交通省 「手作り郷土賞」受賞
- 平成22年 JTB交流文化賞選考委員特別賞
- 平成24年 地域文化選奨特別賞(北海道)
- 平成25年 北のまちづくり賞(北海道)

■後援 / 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、北海道、北海道教育委員会、函館市、函館市教育委員会、函館市文化・スポーツ振興財団、函館国際観光コンベンション協会、函館商工会議所、北海道旅客鉄道株函館支社、函館丸井今井、五稜郭タワー、大槻食材、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館ホテル旅館協同組合、北海道和種馬保存協会道南支部、北海道新聞函館支社、朝日新聞函館支局、毎日新聞函館支局、読売新聞函館支局、函館新聞社、共同通信社函館支局、NHK函館放送局、HBC函館放送局、STV函館放送局、HTB北海道テレビ、TVHテレビ北海道、FMIいるか、NCV、生命保険協会函館協会、(一社)なまらいいんでない会

■特別協力 / 野村證券、五稜郭タワー

■姉妹提携 / フランス ル・ピディフ野外劇

■主題歌 / 「星のまちHakodate」作詞作曲: 新井満

<http://www.yagaigeki.com>



☆ 主な登場人物



ペリー提督



榎本武揚



武田斐三郎



続豊治



高田屋嘉兵衛



土方歳三



石川啄木

コロボックル(長老・子供たち): アイヌ伝承に登場する妖精。劇の案内役。

アイヌ: 北海道・樺太・千島列島およびロシア・カムチャッカ半島南部にまたがる地域の先住民族である。

高田屋嘉兵衛 ペリー提督 カシヨ神父
ゴシケヴィッチ領事 ホジソン領事 榎本武揚 土方歳三
武田斐三郎 続豊治 高松凌雲 石川啄木 中島三郎助